

平成19年度 地域のICTを活用した活動に関するシンポジウム

～地域ICT利活用モデル事業の実施地域を中心として～

ICT(情報通信技術)の進歩と社会への浸透により、私たちの日々の日常生活は目まぐるしく変化しています。ブログやSNSの出現により、情報を検索/閲覧するだけでなく、個人が簡単に世界へ向けて発信できるようになりました。また、携帯電話を中心としたモバイル機器から電子マネーを利用することやインターネットへのアクセスも珍しくなくなり、ユビキタスネット社会が現実のものとなりつつあります。

このような中、総務省より平成19年度「地域ICT利活用モデル構築事業」が始まりました。地域経済の活性化や少子高齢化への対応など、地域が抱える様々な課題をICTの利活用により解決するためのモデル構築に、現在、全国29市町村が取り組んでいます。本シンポジウムは、岡山市(岡山県)、京丹後市(京都府)、松山市(愛媛県)、海士町・宮津市(島根県・京都府)の4地区の取り組みを紹介しながら、各種課題について情報交換し、課題の解決について可能性を広げることを目的としています。

記

■ 日 時: 2008年2月14日(木)14:00～17:00 (開場 13:30)

■ 会 場: 田町ビジネスセンターホールB (JR 田町駅および都営三田線三田駅下車 徒歩2分)

アクセスマップは <http://www.tkptamachi-bc.net/access.shtml> 参照

■ プログラム

13:30～	受付開始	
14:00～	開会挨拶	財団法人全国地域情報化推進協会専務理事 佐野 輝利 氏
14:10～	2008年度総務省事業 について	総務省情報通信政策局 地域通信振興課課長 安藤 英作 氏
14:25～	基調講演	慶應義塾大学総合政策学部 教授 國領 二郎 氏
14:50～	休 憩(10分)	
15:00～	パネル ディスカッション (110分)	コーディネータ: 慶應義塾大学 環境情報学部専任講師 飯盛 義徳 氏 パネリスト: 京丹後市 情報政策課課長 吉岡 敬恭 氏 岡山市 企画局審議監(情報担当) 高田 裕介 氏 海士町 産業創出課 大江 和彦 氏 宮津市企画財政室企画係 宮崎 茂樹 氏 松山市教育委員会 地域学習振興課 課長 竹村 奉文 氏 コメンテータ: 慶應義塾大学SFC研究所 上席研究員 松澤 佳郎 氏
16:50～	閉会挨拶	

■ 主 催: 財団法人全国地域情報化推進協会

慶應義塾大学 SFC 研究所

■ 後 援: 総務省(申請中)

■ 申 込: URL: <http://chiiki.sfc.keio.ac.jp/entry> または、e-mail: tict07@telecon.co.jp

■ 問 合 せ: <http://chiiki.sfc.keio.ac.jp/entry>

慶應義塾大学SFC研究所「地域のICTを活用した活動に関するシンポジウム」事務局
担当/松澤、高橋、小原

e-mail: tict07@telecon.co.jp Tel: 03-5549-2117 Fax: 03-5549-2118